



- ①土砂によって寸断された線路
(田川線：崎山・源じいの森間)
- ②③築堤が崩壊し線路がむき出しに (田川線：崎山・源じいの森間)
- ④大量の雨水によって線路が水没 (伊田線・糸田線)
- ⑤各所で線路を支える築堤が崩壊 (田川線：油須原・赤間)
- ⑥大量の雨は地盤を緩め、線路脇ののり面にも被害が発生 (田川線：赤・内田間)



みなさんの支援をお願いします

平成筑豊鉄道(株)は、今回の豪雨による被害を1日でも早く復旧し、通常の運行を再開できるよう、一丸となって取り組んでいます。通勤や通学、買い物や行楽など、沿線住民のみなさんに使ってもらうことが、被害の復旧だけではなく、災害に強く、魅力あふれる鉄道を育てていくことにつながります。

みなさんの温かい支援をよろしくお願いいたします。



【問い合わせ】

平成筑豊鉄道(株)
(福智町金田)
☎22-1000

※金田駅では、義援金の募金箱を設置しているほか、ちくまるグッズや乗車券などを販売しています。また、イベント情報や運行状況などを、へいちくネット (<http://www.heichiku.net/>) でお知らせしています。

へいちくフェスタ 2018

軌道保線車運行、ミニちくまる号運行(有料)などの鉄道乗り物体験のほか楽しい催しが盛りだくさん。同日には、九州最大級のスイーツイベント「福智スイーツ大茶会」(福智町金田ドーム)も開催します。へいちくに乗って遊びに来ませんか。

- とき 10月13日(土)・14日(日)
- ところ 平成筑豊鉄道 金田駅



▲軌道保線車の運行体験の様子

◆問い合わせ たがわ魅力向上課(☎85-7147)、平成筑豊鉄道(株)(☎22-1000)



待っている人がいる
届けたい思いがある
みんなを取り戻そう
暮らしを紡ぐこの道を

平成筑豊鉄道 豪雨の傷跡

平成最悪の豪雨災害をもたらした「平成30年7月豪雨」。その猛威は、平成筑豊鉄道の線路などを破壊し、通勤、通学などで利用する沿線住民の生活に打撃を与えました。今、この危機を乗り越えようと、たくさんの人が力を合わせています。

雨が鉄道を止めた

昨年10月に新社長を迎え、本年5月には台湾鉄道平溪線と姉妹鉄道協定を締結。経営改善と沿線地域の活性化に向けて大きく舵を切った平成筑豊鉄道の前途に、容赦なく雨が降り注ぎました。

7月6日、豪雨の影響で、連続雨量が運行できる規制値(350mm)を超え、伊田線・糸田線・田川線の全線が運休。以降2日間に渡り終日運休が続きました。直方(田川)行橋を結ぶ全長49.2kmの線路の各所で、道床流出や築堤崩壊などの被害が発生。社員や住民からの連絡で本社の電話がひっきりなしに鳴り、一時騒然となりました。大きな線路災害が9か所で発生し、そのうち7か所が田川線で、特に赤村、みやこ町をつなぐ線路に被害が集中しました。現在も田川線の一部(崎山駅～田川伊田駅)は運休しており、代行バスを運行して対応しています。

人の支えが道を開く

ローカル鉄道が受けた被害は、たくさんの利用者の生活に打撃を与えましたが、それ以上に多くの人の心を動かしました。被害状況が明らかになるにつれて、有志による募金活動や復興支援イベントの実施など、平成筑豊鉄道を応援するための活動が広がりました。後藤寺商店街は、7月28日に開

催した夜市の会場に「がんばれ！平筑！」の募金箱を設置。訪れた人々から温かい善意が集まりました。【写真①】募金した人々からは「大変な被害で驚いた！早く復旧してほしい」と心配する声が上がりました。同日に催された伊田商店街の夜市でも、募金が呼びかけられました。同商店街は、大平太土地域おこし協力隊員と協力して、平成筑豊鉄道のマスコットキャラクター「ちくまる」をあしらった「ちくまる缶バッジ」を制作。募金者にプレゼントして鉄道をPRしました。【写真②③】今回の豪雨がもたらした被害を復旧し、運行を完全に再開するためには、たくさんの時間と費用そして人の力が必要です。途切れた線路をつなぎ、道を開くために、みなさんの力を貸してください。